

## 4 学校教育

### (1) 地域や小・中学校が連携した教育体制の確立

#### 【現状と課題】

現在、社会環境の急激な変化などにより、本市においても、豊かな人間性を育む義務教育の時期に、子どもの学習意欲の低下や学校生活への不適應など、さまざまな課題が生じている。

このような状況においては、小・中学校 9 年間のつながりを意識して、子どもの発達段階に応じたきめ細かで系統的な教育を行う必要があり、本市が推進する小中一貫教育の果たす役割がますます重要となっている。

「第5次廿日市市総合計画後期基本計画策定に係る市民アンケート調査（平成23年7月）」（以下「アンケート調査」という。）において、学校教育について、今後どのような点に力を入れていくべきかとの問いに対し、30.8%の市民が「地域と連携した学校運営」を挙げている。

学校だけでなく、地域社会全体で子どもを育てるという認識のもと、地域に開かれた学校づくりに努め、学校・家庭・地域が一体となり、魅力ある学校づくりを推進していくことが求められている。

#### 【平成27年度当初予算の主な事業】

##### ① 小中一貫教育の推進

- 小中一貫教育推進事業（教育指導課） 4,178千円

小中一貫教育を推進するため、中学校区ごとの小中合同研修会を実施するとともに、小・中学校の教職員が相互理解を深めるために互いの学校へ行って研修できるように、非常勤講師を配置する。

- 小中一貫校施設整備事業（教育総務課） 685,671千円

小中一貫教育推進校（一体型）の整備を行う。

大野西小学校・大野中学校 校庭整備工事、柔剣道場建設工事ほか。

宮島小学校・宮島中学校 屋内運動場改築工事ほか。

##### ② 学校規模適正化の推進

- 教育一般事務事業（教育総務課） 4,153千円

平成27年4月の学校統合に伴い、バス通学となる児童に対し定期券購入費用を補助し、新たな通学路で安全に通学できるよう通学支援員を一定期間配置する。また、閉校となった学校施設は、安全性の観点から遊具を撤去する。

地元の中学生の進路選択の幅を狭めないように佐伯高校の存続及び活性化を図るため、必要な支援を行う。

##### ③ 体験活動の実施

- チャレンジ学校づくり支援事業（生涯学習課） 516千円

小規模校に通う児童の豊かな人間性や社会性、自ら考えて行動できる力などを育み、特色ある学校づくりを行うため、小学校3・4年生を対象とした授業交流や、自然体験活動、地域の行事への参加などを行う。

④ 学校・家庭・地域の連携

○ 学校支援地域本部事業（生涯学習課）

13,604千円

地域ぐるみで、学校教育や子どもたちの健やかな成長を支援することを通して、地域と学校の風通しの良い関係やそれぞれの学校・地域ごとに子どもを見守る新たなかたちをつくるため、地域における学校応援団である「学校支援地域本部」の設置に取り組み、その運営について、補助、助言、活動支援を行う。平成27年度は新たな学校区（2校区）での体制づくりに取り組む。

## (2) 教育内容の充実

### 【現状と課題】

国際化や情報化など、グローバル社会の進展に伴い、国際理解や国際協調が求められるとともに、情報モラルや環境問題など、様々な問題が生じている。

このような状況の中、本市においては、学力定着状況調査の実施や、全学校への外国人英語指導講師の配置、地域の特性を生かした体験活動の実施、豊かな感性や情緒を育むための読書環境の整備などの取り組みを実施している。

社会をたくましく生きる子どもを育てるためには、基礎的・基本的な知識や技能の習得のみならず、身に付けた知識や技能を活用し、自ら学び考え、課題を解決するための探究する力、伝統と文化を尊重し、それらを育ててきた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度や環境問題に対する正しい理解など、社会の変化に適切に対応できる力を育成する必要がある。

市民へのアンケート調査においては、学校教育について、今後どのような点に力を入れていくべきかとの問いに対し、「子どもの基礎学力の向上」が55.9%、「語学等国際教育の充実」が28.5%、「パーソナルコンピューターなど設備の充実」が18.6%となっており、社会情勢に対応した教育の充実が求められていることがうかがえる。

### 【平成27年度当初予算の主な事業】

#### ① 伝統・文化に関する教育、国際理解教育の充実

##### ○ 国際理解教育推進事業（教育指導課）

51,084千円

国際社会を主体的に生きる子どもの育成を図るため、市立幼稚園及び全ての小・中学校に外国人英語指導講師を配置し、積極的に自分の考えや意見を伝えることのできる英語コミュニケーション能力の育成をめざす。

##### ○ けん玉の普及啓発（文化振興事業）（文化スポーツ課）

90千円

国内における「けん玉」発祥の地として、「けん玉あそび」の伝承、普及・啓発のきっかけとするため、小学校1年生を対象に、けん玉講師を派遣し、けん玉の遊び方を教える。

#### ② 情報教育の充実

##### ○ 教育用コンピューター教室の整備（小学校教育用コンピューター整備事業）（教育指導課）

17,738千円

##### （中学校教育用コンピューター整備事業）（教育指導課）

5,027千円

高度情報通信社会に対応できるよう、市内の小・中学生が、授業等で情報教育機器を活用できる環境を整備し、情報活用能力の育成に資する。

### ③ 読書環境の充実

- 学校図書館活用推進事業（教育指導課） 16,091千円  
子どもの読書活動を推進するため、全ての小・中学校に「読書活動推進員」を配置する。
- 図書館活動事業（はつかいち市民図書館） 23,985千円  
教養・趣味・娯楽を含めた住民の知的要求に応えられる読書環境を整えられるよう、図書を購入し蔵書の充実を図る。特に、図書館が子どもと本のよい出会いの場となるように、絵本蔵書の充実に努める。

### ④ スポーツの振興

- 心と身体の健康づくり事業（学校教育振興一般事業）（教育指導課） 1,000千円  
小・中学校へ優れたアスリートを派遣し、児童・生徒にその技術や考え方に触れさせることを通して、自分の健康に関心を持ち、進んで健康的な生活を送ろうとする意欲や実践力を育てます。

### (3) 子どもが健やかに育つ環境づくり

#### 【現状と課題】

少子化・核家族化、コミュニティの衰退などにより、家庭・地域の教育力が低下し、子どもの社会性の低下、規範意識の希薄化、いじめ・不登校問題、体力・運動能力の低下、生活習慣の乱れなどが懸念されている。

このような状況の中、本市においては、青少年指導員や心の教室相談員などの配置による学習支援や相談体制の整備など、子どもが健やかに育つ環境づくりに努めている。

生命を大切に、他人を思いやる心などの豊かな心を育み、社会の一員としての規範意識に基づいて行動し、人権尊重の意識を高め、互いに人として尊重し合うなど、心身ともに健やかな子どもを育成するための取り組みの充実を図ることが必要である。

市民へのアンケート調査においては、学校教育について、今後どのような点に力を入れていくべきかとの問いに対し、「道徳教育の充実」が64.9%、「いじめ、不登校対策の充実」が56.0%、「体育・運動の充実」が25.7%となっており、心身ともに健やかな子どもを育成するための教育の充実が求められていることがうかがえる。

近年、小・中学校における特別支援学級在籍人数の増加や、通常学級におけるLDなど特別な支援を必要とする子どもが増加し、これらの子どもに対して、学校としての適切な対応が求められており、特別支援教育体制の充実に取り組んでいるところである。

#### 【平成27年度当初予算の主な事業】

##### ① いじめ・不登校対策等の充実

###### ○ ハートウォーミング事業（教育指導課） 15,999千円

小・中学校に在籍する不登校の子どもに対して、学校とは異なった環境の中で、学習やグループ活動・カウンセリング等の支援を行い、対人関係の改善や学習意欲の向上を図り、自立や学校復帰をめざす。

###### ○ いじめ防止対策推進事業（教育指導課） 19,314千円

いじめや不登校等に関する児童・生徒や保護者への対応について、学校を支援するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを派遣する。

###### ○ いじめ・不登校対策事業（教育指導課） 14,890千円

いじめや不登校を減少させ、すべての児童が楽しく安全・安心な学校生活を送ることができるようするため、小学校へ「生徒指導アシスタント」を配置する。生徒指導アシスタントやこども相談室の青少年指導員が学校と連携し、組織的に取り組んでいくことで、今後も不登校の減少やいじめの早期発見、早期対応に努める。

##### ② 心のケア体制の充実

###### ○ 心の教室相談員事業（教育指導課） 6,582千円

学校生活等における生徒の悩みや相談を聞き、心のケアに当たるため、中学校へ「心の教室相談員」を配置し、相談内容を共有し、組織的に対応できる体制を構築していくために、心の教室相談員対象の研修の充実を図る。

③ 特別支援教育の充実

- 特別支援教育支援員の配置（小・中学校管理運営事業）（教育指導課） 62,339千円  
発達障がいのある子どもや個別の支援を必要とする子どもの学校生活や学習を支援するため、支援を必要とする児童生徒の状況を把握し、必要に応じた適切な特別支援教育支援員の配置とその確保に努める。

## (4) 教職員の資質・指導力の向上

### 【現状と課題】

学校教育の直接の担い手である教職員の活動は、子どもの心身の発達にかかわり、その人格形成に大きな影響を及ぼすものである。

国際化や情報化の進展など、変化の激しい社会において、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスのとれた子どもを育成していくには、教職員の指導力の向上が必要となる。

市民のアンケート調査においては、学校教育について、今後どのような点に力を入れていくべきかとの問いに対し、「先生の資質の向上」が 59.5%となっており、教職員の資質・指導力を向上させる取り組みの充実が求められている。

本市においては、平成 17 年度より、市主催でプログレス研修を実施しており、教職員の資質・指導力の向上に努めている。今後、研修内容などを精査し、継続的に取り組んでいく必要がある。

また、教職員一人一人が自ら主体的に研修に努め、自己の資質能力の向上を図ることも期待されている。

### 【平成 27 年度当初予算の主な事業】

#### ① 教職員の研究活動の充実

##### ○ 教育研究委嘱事業（教育指導課）

4,354 千円

市内小・中学校の中から研究委嘱校を指定し、指導内容・指導方法等の実践的な研究を行わせ、市内の学校へその成果を普及する。

## (5) 地域による学校支援や子どもの成長を支える仕組みづくり

### 【現状と課題】

子どもの問題行動の深刻化の背景として、コミュニティの衰退などに伴う人間関係の希薄化など、家庭・地域の教育力の低下が指摘されている。

また、学校においては、教職員が子どもと向き合う時間の確保も課題の一つとなっている。

このような状況の中、本市においては、地域住民の協力を得た授業や体験活動支援など、地域との連携により子どもを育成するための取り組みを実施してきた。

引き続き、これらの取り組みを充実させ、地域全体で学校を支援し、子どもの成長を支える体制を構築することが求められている。

### 【平成27年度当初予算の主な事業】

#### ① 協働による魅力ある学校づくり

##### ○ 学校支援地域本部事業（生涯学習課）《再掲》 13,604千円

地域ぐるみで、学校教育や子どもたちの健やかな成長を支援することを通して、地域と学校の風通しの良い関係やそれぞれの学校・地域ごとに子どもを見守る新たなかたちをつくるため、地域における学校応援団である「学校支援地域本部」の設置に取り組み、その運営について、補助、助言、活動支援を行う。平成27年度は新たな学校区（2校区）での体制づくりに取り組む。



## (6) 安全・安心な教育環境の確保

### 【現状と課題】

本市の小・中学校の耐震化率は、全国平均と比較すると低い状況であり、計画的な耐震化の推進が必要となっている。学校施設は、子どもが一日の大半を過ごす学習、生活などの場であるとともに、災害発生時には地域住民の応急的な避難場所としての役割も果たすため、耐震性能を備えた学校施設の整備が重要である。

また、本市においては、平成17年度に子どもの安全対策推進本部を設置し、通学路の危険箇所の改善や子どもの登下校指導などの取り組みを実施している。全国的に多発する子どもを対象とした犯罪・事故などから、子どもを守るための取り組みも、安全で安心な教育活動を行うために必要である。

さらに、平成23年3月11日発生の東日本大震災では、安全指導や防災訓練などの防災教育の重要性が改めて認識された。

そのため、学校等における災害を未然に防止するため、平素からこどもの発育段階及び地区の実態などに応じた、必要な防災教育を行うことが重要である。

本市の学校給食施設は新しい施設がある一方、施設が老朽化し、衛生管理基準への対応が十分でない施設も存在している。また、都市化・過疎化の進行により、建設当時に比べ、児童数が増減し、稼働率が著しく高い施設や低い施設が存在している。こうした様々な課題に対応し、安全で安心な学校給食を安定的に提供していくため、「廿日市市学校給食施設の整備方針」に基づき、給食施設の適正配置や整備を進めていく必要がある。

### 【平成27年度当初予算の主な事業】

#### ① 学校施設の耐震対策等の実施

- 小学校施設耐震化事業（教育総務課） 734,204千円  
安全で安心な教育環境を確保するため、小学校施設の耐震化を推進する。  
耐震補強工事：佐方小学校校舎ほか7棟  
天井等改修工事：金剛寺小学校屋内運動場ほか9棟
- 中学校施設耐震化事業（教育総務課） 631,039千円  
安全で安心な教育環境を確保するため、中学校施設の耐震化を推進する。  
耐震補強工事：廿日市中学校校舎ほか4棟  
天井等改修工事：廿日市中学校屋内運動場ほか9棟
- 幼稚園施設耐震化事業（教育総務課） 104,486千円  
安全で安心な教育環境を確保するため、宮島幼稚園の耐震化を推進する。  
幼稚園施設耐震補強工事、遊戯室天井等改修工事

#### ② 子どもを災害、事故や犯罪から守るための安全対策

- スクールガード・リーダーによる巡回指導（学校教育振興一般事業）（教育指導課） 147千円  
安全で安心して過ごせる学校を確立する体制づくりのため、警察OBなど危機管理の専門知識を持ったスクールガード・リーダーが、幼稚園、小学校の巡回指導を行う。

③ 学校給食施設の整備

- 学校給食施設維持管理事業（教育総務課） 43,222千円  
食の安全安心を確保するため、廿日市学校給食センター等の改修工事等を行う。
- 学校給食施設整備事業（教育総務課） 34,527千円  
平成26年度に策定した廿日市市学校給食施設整備基本構想に基づき、大野学校給食センター整備のため、必要な用地購入を行う。